

令和8年度岩出市立山崎北小学校スクールプラン



岩出市学校教育指導方針

『未来に輝く子供を育てるために』
子供たちが変化の激しい社会を生き抜き、未来を切り拓くために必要な力を育むことを目指す

- 持続可能な社会の創り手の育成
- 教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

保護者・地域の願い

- 環境を整えた中で、学習をさせてほしい
- 学力を向上させてほしい
- 楽しいと思える学校にしてほしい
- 教員の質を向上させてほしい
- 登下校を含め、安全に過ごしてほしい
- 地域に愛着を持てるようになってほしい
- 地域への情報発信を積極的にしてほしい

【学校教育目標】

校訓：強く 明るく 正しい子

みんなが輝く学校
～自学・自治・自愛～

【めざす児童像】

- ・夢と希望をもち、自分の成長を信じて学ぶ児童
- ・自分も友だちも大切にし、それぞれのよさを認めながら協力して学ぶ児童
- ・心身ともに健康でたくましい児童

前年度の学校評価

- 授業公開・公開授業など開かれた学校づくりにつとめている
- 教員は子ども達と共に活動している ⇒以上97%
- 学校行事は子どもにとって有意義なものになっている
- 先生は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している ⇒以上95%
- 子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている⇒84%
- 学校の安全についてよく把握し、指導できている⇒83%
- 積極的に情報を開示し説明責任を果たしている⇒82%
- 子どもは進んであいさつができる⇒67%

児童の実態

- 一部の子どもは、あいさつが進んでできる
- 明るく活発に遊ぶことができる
- 家庭環境や本人の特性から、コミュニケーションや学校生活等に困難を抱えたり、不安や戸惑いを感じたりしている
- 学校や学級のルールを守ることができにくい

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確実な定着
- ◎研究主題「学び続ける子どもの育成～「好き」を育み「得意」を伸ばす、みんながわかる授業の実践～」(1年目)
- ◎読書及び個に応じた家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎自分のことを大切に、お互いのよさを認め合える人間関係づくり
- ◎発達支持的生徒指導の充実(「生徒指導の実践上の視点」の実践)によるいじめ・不登校の未然防止

健やかな体の育成

- ◎健康な生活習慣の定着及び安全・安心な学習環境の整備
- 食育指導の充実
- ◎生活全般において、児童自ら危機を予測し回避できる力の育成
- ◎体力・運動能力の向上

地域に開かれた学校

- ◎PTA、学校運営協議会との連携を密にした学校づくり
- 地域の人材や資源を有効活用した教育活動の充実
- 保育所・幼稚園・こども園及び中学校との連携の推進

具体的な取組

- ◎学力向上4部会(研究授業部会、UD部会、公開授業部会、指導力向上部会)、特別支援教育部会及び生徒指導部会が連動した授業改善
- ◎教師同士の柔軟な互見授業研修に基づく子どもが主体的に学ぶ個別最適な学びを推進
- ◎ICTを活用した子どもが主体となる個別最適な授業づくり、朝学及び補充学習の充実
- 子ども一人一人に応じた家庭学習の推進と充実
- 図書館司書やボランティアの充実及び活用
- ◎ユニバーサルデザイン及びポジティブ行動支援の考え方に基づく、学習指導及び学習環境の工夫・改善

- 「特別の教科 道徳」の充実及び教職員の人権教育の理解を深め、具体的な実践につながる研修の実施
- ◎子どもが主語となる授業実践を中心に、学級活動や児童会活動、縦割り活動など、子どもたちが主体的に活躍できる機会の設定
- ◎年3回(学期毎に1回)いじめアンケートの実施及び生徒指導担当教員を核に法令に基づき迅速ないじめ対応
- ◎校内特別支援教育コーディネーターを中心に、児童の理解及び支援につながる研修の実施
- ◎関係機関と連携し、SC、SSW等による確かなアセスメントに基づいた教育相談体制の確立

- 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ◎病気や事故、災害等から自分を守るための保健教育、安全教育、食育の実施
- ◎避難訓練を3回以上実施(防災教育を含む)
- 発達段階に応じた情報リテラシー・モラル教育の実施(保護者に協力も依頼)
- 感染症等の予防の徹底
- ◎体育専科教諭を核に、技術や知識の定着及び運動の楽しさを子どもたちに味わわせる授業実践の推進
- 体力・運動能力調査、運動習慣等調査の分析結果を基に、児童の実態に応じた指導改善を推進

- ◎校報やホームページ等を活用し、保護者、地域へ積極的に学校の様子を発信
- 授業や行事等を積極的に公開
- 学校教職員、保護者、地域の方々と連携した登下校の見守り活動等の実施
- ◎学校運営協議会を核にしたコミュニティスクールの推進及び充実
- 地域人材を活用した学習活動を実施する。
- 保育所・幼稚園・こども園と連携及び、中学校との交流の充実

指標

- ・「自分に合った方法で考えることができる」児童評価90%以上
- ・「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」保護者評価90%以上
- ・すべての教師が、子どもを主語にした公開授業または研究授業を実施
- ・「合理的配慮について理解し、一人一人の児童に応じた支援を行っている」教員評価90%以上

- ・「学校に行くのが楽しい」児童評価90%以上
- ・「自分には良いところがある」児童評価90%以上
- ・「友達の良いところを見つけることができた」児童評価90%以上
- ・「子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている」保護者評価90%以上
- ・いじめの早期発見・認知及び組織的な対応の実施
- ・長期欠席児童数の減少(令和7年度比25%減)

- ・食育授業を各学年1回以上実施する
- ・「朝ご飯を食べた」児童評価100%
- ・発達段階に応じた情報リテラシー・モラル教育を各学年1回以上実施
- ・「防災・防犯・事故を防ぐ等の安全教育を適切に行っている」教員評価95%
- ・全園スポーツテスト(A・B・C判定の児童60%以上)

- ・「学校は開かれた学校づくりに努めている」保護者評価90%以上
- ・「子どもの様子を積極的に伝えた」教員評価95%以上
- ・「保護者との連携を図りながら取り組んでいる」教員評価100%
- ・地域人材の活用 10回以上

◎…特に重点的取組